

# ムラびとエッセイ

下野谷遺跡の特別展のお手伝いは大変有意義でした。多くの方が観に来てくれて、遺跡から発掘された土器に驚いたり、床に貼られた実物大の住居跡の上に立って縄文人の気分になったり、学芸員の方が説明するのを熱心に聞いていました。私はその説明を何度も横で聞いていて、いつの間にか頭の中に沢山あった「なぜ」が徐々に「なるほど」に変わっていきました。縄文人は東伏見の高台がなぜ住みやすかったのか、どの様な暮らしぶりだったのか、長い間に土器の模様や形が少しずつ変わっていった様子、大豆や小豆の栽培が始まっていたらしい事、川を利用して海との交流も盛んだった事など大変興味深かったです。私にとって勉強になる貴重な場だったと思います。この遺跡のそばでいつでもこの様な素晴らしいものが観られると良いねと言う感想を沢山聞き、私もそうなるとういなと思いました。

ムラびと  
M.T

## My favorite photo

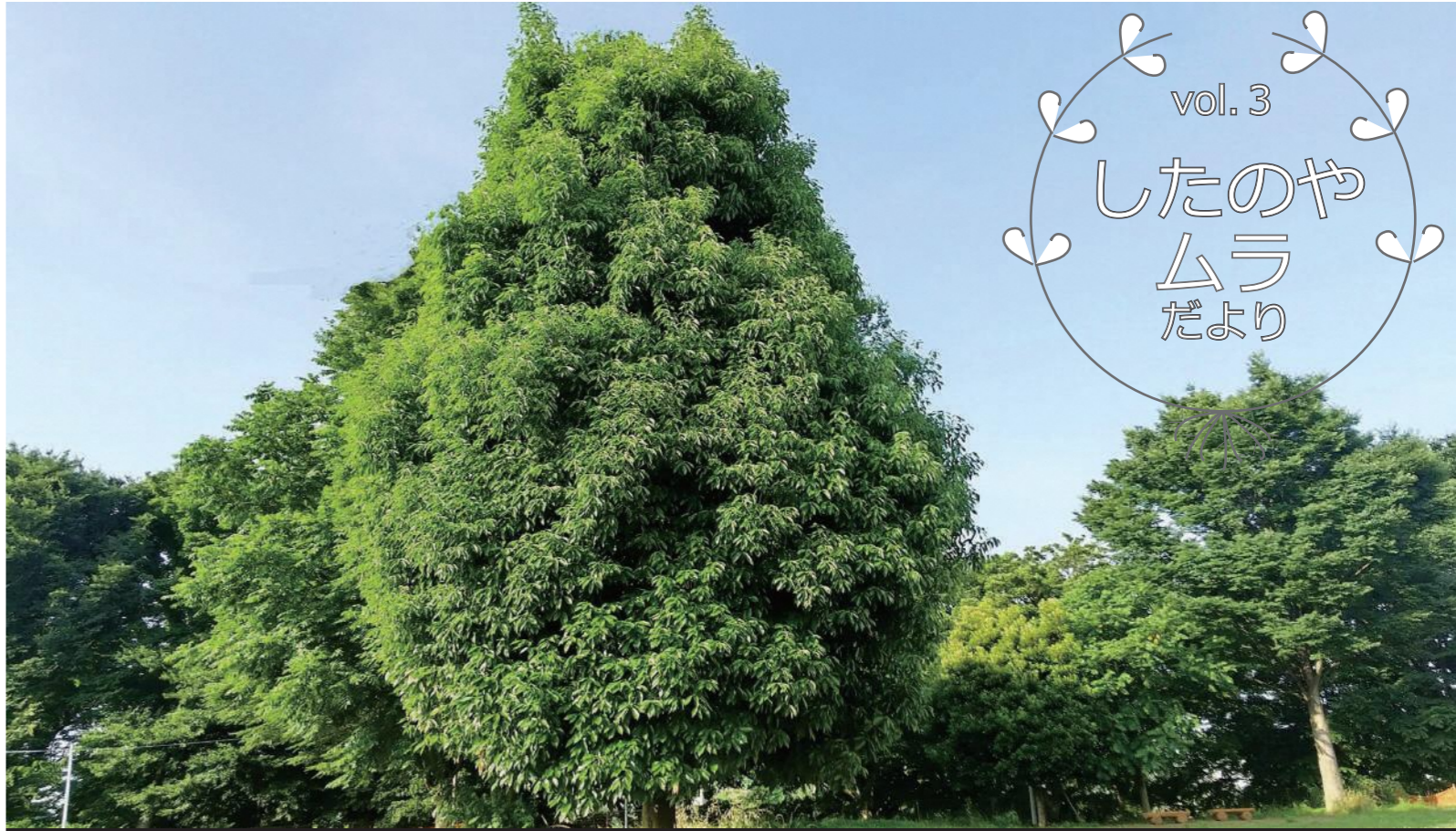


### わたしのお気に入りの1枚

職場の異動で4月からこのエリアをよく通るようになりました。前に足を踏み入れたのは数年前でしたが、この間の休日に家族を連れて数年ぶりに訪れてみたら、子供もいつになくはしゃいで思いがけず楽しい休日になりました。これからも整備が進むとのことなので、子の成長を見守るように遺跡の整備も見守りたいと思います！

ムラびと D.K

このコーナーでは、掲載する写真を大募集しています！  
下記メールアドレスまで、お送りください。お待ちしております！  
✉ syakyou@city.nishitokyo.lg.jp



### ご挨拶

社会教育課から  
みなさまへ



立秋とは名ばかりの暑さがつづいておりますが、みなさま、お元気にお過ごしですか。したのやムラだよりも第3号となりました。このとおり、みなさまの手に届いたことをうれしく思います。さて、下野谷遺跡の整備も進み、床面表示タイル、立体模型及び土坑墓（縄文時代のお墓）等が整備されました。さらに、下野谷遺跡をPRするため、特別展が開催されました。みなさま、来ていただけましたか？ 今回のしたのやムラだよりでは、主に土坑墓や、特別展についてご紹介させていただきます。どうぞお楽しみください。

しーたとのや4コマ劇場

### あの木 なんの木？ 気になる木！

1. 1人: どっかで見たことがある生き物みたい  
2人: 葉っぱがギザギザしてないから、クリじゃないね  
2人: カシかな？

2. 2人: クリはムラの周りにたくさんあって、この前は白い花が咲いていたね  
2人: ムラいっぱい、クリの花のおいだったね今年もきつと豊作！

3. 2人: ニフトコの赤い実もいっぱいだったねお酒も造れるよ！  
1人: クルミもいっぱいになってるよクルミだって知らない人もいるかな？

4. 2人: 森は宝箱！！  
2人: 森の神様に感謝して大切にしよう♪

## お知らせ

10月から、下野谷遺跡では竪穴式住居と土器溜まりの復元工事が始まります。皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

遺跡で例年行っている「縄文の森の秋まつり」は、新型コロナウイルス感染症の状況も見ながら慎重に開催方法の検討を進めています。

詳細決定次第、ホームページ等でお知らせいたしますので、開催の際にはぜひご参加ください。

## したのやムラだより vol.3 (2022/8)

発行：西東京市教育委員会 教育部 社会教育課 文化財係  
☎ 042-420-2832  
✉ syakyou@city.nishitokyo.lg.jp

H P:



したのやムラだよりでは今後も、したのや遺跡の魅力や活動の成果について、定期的にご紹介いたします。お楽しみに！



# ポコポコ小山の正体



現在、下野谷遺跡では、縄文時代を体感していただけるよう、発掘調査の成果をもとに「したのやムラ」の一部を復元する整備工事を行っています。  
整備地に行くとポコポコとした小山がいくつもできています。なんだと思いますか？



実はこれ、縄文時代のお墓を復元したものなのです。

したのやムラは約5～4千年前の縄文時代中期の典型的な集落で、住居などに囲まれた中央の広場にお墓があります。お墓といっても、発掘調査で実際に骨が見つかったわけではありません。日本列島の土壌では、通常骨などの有機物は分解されてしまいます。発掘調査で見つかるのは縄文人が掘ったたくさんの穴だけです。

その中に、底に穴があけられた土器が逆さまに伏せて入っていたり、耳栓(じせん=ピアス)や垂飾(すいしよく=ペンダント)など、少し変わった遺物が埋まっている穴があります。



貝塚を知っていますか？

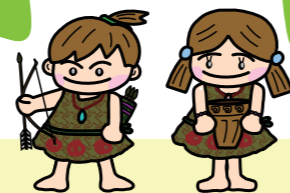
縄文人が食べた貝が積もった貝塚は「送り」の場でもあり、貝層の下にお墓や廃棄された住居が見つかることがあります。そのような場所では、貝の成分に守られ骨が残っています。そのようなお墓には、ピアスやペンダントを付けた人骨や、頭の上に穴があいた土器をかぶせた人骨が埋められていることがあります。下野谷遺跡からみつかった穴と同じですね。そこで、骨は見つかっていませんが、お墓だと考えているのです。ただし、小山のように土盛りされていたのかはわかっていません。

したのやムラの人たちはムラの中にお墓を作りました。ところが、したのやムラから人々が移動してしまった縄文時

代後期になると、ムラは分散して小さくなり、お墓やお祈りの場がムラとは離れた場所に作られるようになります。秋田県鹿角市大湯環状列石(ストーンサークル)や東京都調布市下布田遺跡の配石などが代表的な例です。どうしてそのような変化が起こったのか、気候変動や社会の変化にその理由を求める研究が盛んにおこなわれています。安定した気候の下、大集落を千年にもわたり維持したしたのやムラの人々は、祖先の魂に常に見守られながら、穏やかに幸せな暮らしが続くことを祈っていたのかもしれない。

中に何も入っていないから、掘ってみたりしないでね。

史跡を勝手に掘ったりすることは「文化財保護法」で禁じられています。



イベント報告!

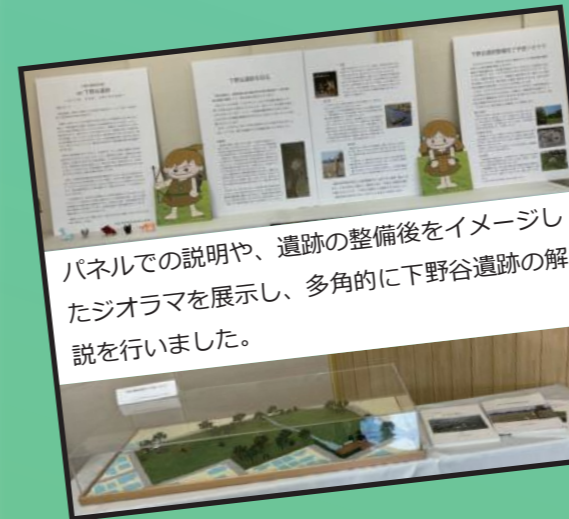


下野谷遺跡特別展

# on 下野谷遺跡 コノシタ、ココモ、シタノヤイセキ

令和4年5月11日(水)▶25日(水) @西東京市東伏見市民集会所

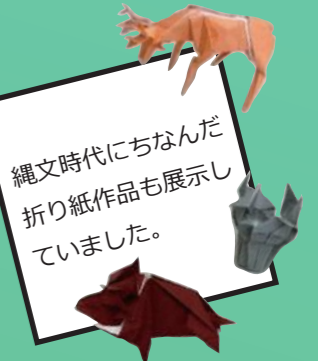
下野谷遺跡が国史跡となってから、早7年。今回初めて、遺跡の中で(上で?)特別展を開催しました。特別展では、今後行われる整備によって未来の遺跡はどうなるかを示したジオラマスペース、市民の方々と協働で行っている普及啓発の様子、出土した遺物や住居跡などの縄文時代の人々の生活の痕跡を示すもの、と過去から未来、下野谷遺跡を取り巻く様々な事柄の一部を展示しました。約2週間の短い期間ではありましたが、来場者数は延べ380名、たくさんのメッセージもいただくなど、大盛り上がりの特別展となりました。



パネルでの説明や、遺跡の整備後をイメージしたジオラマを展示し、多角的に下野谷遺跡の解説を行いました。



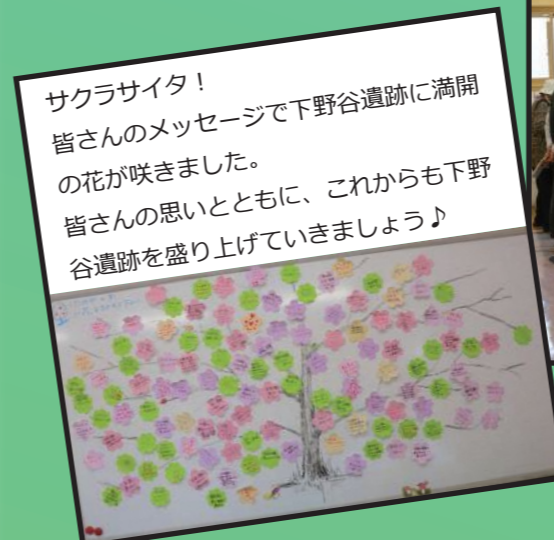
メイン展示は床全体に実寸大で表示した住居址!大きさを体感できると好評でした♪



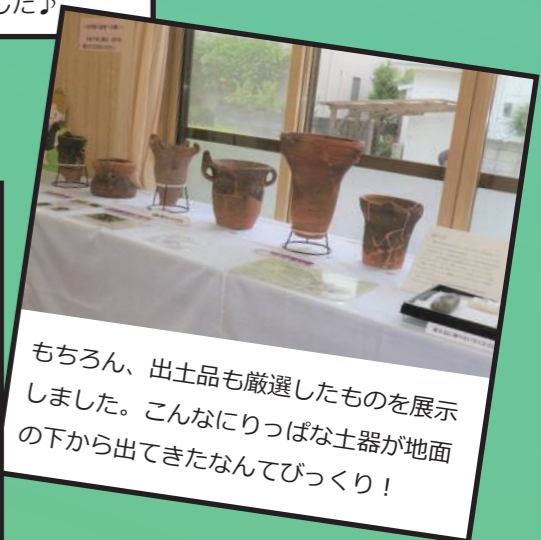
縄文時代にちなんだ折り紙作品も展示していました。



ムラびとの方々にも解説員になってもらって



サクラサイタ!皆さんのメッセージで下野谷遺跡に満開の花が咲きました。皆さんの思いとともに、これから下野谷遺跡を盛り上げていきましょう♪



もちろん、出土品も厳選したものを展示しました。こんなにりっぱな土器が地面の下から出てきたなんてびっくり!

たくさんの人に下野谷遺跡の魅力を伝えました!

